

人を対象とする医学系研究実施について

研究課題名「末梢血幹細胞採取における XN-9000、HPC モードの臨床的有用性の検討」

熊本大学医学部附属病院 中央検査部では、2016 年 6 月 29 日に学内倫理委員会の承認を受け、「末梢血幹細胞採取における XN-9000、HPC モードの臨床的有用性の検討」という課題名の研究を行っています。これは、末梢血幹細胞移植を目的として行われる末梢血幹細胞採取の際に、幹細胞を十分量採取するための指標として期待される測定値について、明らかにしていくものです。本研究は中央検査部の研究費によって行われるもので、企業など外部施設からの資金供与は受けておりません。

この研究では、診療目的で行われた検査結果および、治療・検査目的で患者さまから採取した検体で必要な検査が終わったのちに、本来医療廃棄物として廃棄される検体の一部を用いることとしています。この研究のためだけに検体を採取するということはありません。また、検体は「連結不可能匿名化」という処理を行い、研究を担当する者にも誰の検体か分からないようにしてから研究に用います。このような形式の場合、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」において、必ずしも文書による同意取得を行わずとも研究に用いることが認められていますが、もし、本研究への検査結果および検体の提供をお断りされる場合には、これに応じますので、お申し出ください。

研究担当者

熊本大学医学部附属病院 中央検査部

臨床検査技師 舛田博貴（電話：096-373-5702）